

第75回 東京・第76回 京都 スガウエザリング学術講演会

〔第75回 東京〕 開催日：令和6年10月23日（水）
会 場：野村コンファレンスプラザ日本橋
6階 大ホール

〔第76回 京都〕 開催日：令和6年10月30日（水）
会 場：ホテルグランヴィア京都
5階 古今の間 中

参加登録制

〔聴講無料
テキスト代 1部5,000円(消費税込)〕

定員 東京 150名・京都 120名（申込順）

参加申込方法は、裏面をご覧ください。

後 援： 文部科学省
協 賛： （一社）軽金属製品協会（公社）高分子学会（一社）色材協会
（公社）自動車技術会 ステンレス協会（一社）繊維学会
（一財）日本ウエザリングテストセンター（一社）日本鋼構造協会
（一社）日本ゴム協会（一社）日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟
（一社）表面技術協会（公社）腐食防食学会 スガ試験機(株)

主 催： 公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団

■ プログラム

テーマ 新しい視点から挑戦するウェザリング研究

開催 日程 会場 時間割	東京（第75回）	京都（第76回）
	2024年10月23日（水） 野村コンファレンスプラザ日本橋 6階 大ホール	2024年10月30日（水） ホテルグランヴィア京都 5階 古今の間 中
13:00～13:05 (5分間)	開会のご挨拶 理事長 須賀 茂雄	
[1] 13:05～13:50 (45分間)	マテリアルズ・インフォマティクスを活用した腐食予測技術 東芝インフラシステムズ株式会社 インフラシステム技術開発センター 産業システム・材料開発部 材料応用技術開発担当 主務 佐々木 遥	
[2] 13:55～14:40 (45分間)	JIS K 7201-4 ISO 4589-4 の制定： 宇宙居住環境での固体材料の可燃性の評価 〔東京〕 (一財) 日本舶用品検定協会 顧問、JAXA 客員 吉田 公一	地上試験から評価する宇宙居住環境での固体材料の可燃性 〔京都〕 岐阜大学 工学部 機械工学科 教授 高橋 周平
[3] 14:45～15:30 (45分間)	塗膜の屋外耐候性 ～ 屋外暴露で塗膜はどのように劣化（変化）するのか？ ～ 関西ペイント株式会社 開発・調達部門技術開発本部 開発試験部受託試験第3G 松田 健	
(休憩 10分)		
[4] 15:40～16:10 (30分間)	樹脂の耐候性試験における新たな光学特性評価 (公財) スガウェザリング技術振興財団 耐候研究委員会 喜多 英雄	
[5] 16:15～16:45 (30分間)	JASO M 609:2024 新試験による鋼板を用いた腐食減量の結果報告 〔東京〕 スガ試験機株式会社 開発部 プロジェクトD 課長代理 長谷川 和哉	〔京都〕 スガ試験機株式会社 製造本部 部長 長谷川 剛
16:45～16:55 (10分間)	閉会のご挨拶 評議員 伊藤 叡	

(敬称略)

技術交流会（スガ試験機(株)主催、参加無料）		
17:00～18:30	〔東京〕 野村コンファレンスプラザ日本橋 於 5階 大ホール	〔京都〕 ホテルグランヴィア京都 於 5階 古今の間 南

■ 講演概要

[1] 佐々木 遥

機械学習により非線形な現象を精度良く回帰できることが注目されている。そこで、教師あり機械学習モデルを用いて屋内大気環境における金属の腐食性予測を試みた。マテリアルズ・インフォマティクス* の知見を活用して金属の性質を数値データに変換した記述子を用い、さらに混合ガス腐食試験で得られた結果と合わせて教師データとし、1つの機械学習モデルで様々な金属の腐食性を予測することに取り組んだ。本発表では、データの前処理方法、記述子の検討、予測性能評価について報告する。

*マテリアルズ・インフォマティクス：機械学習等を用いて、材料開発を高効率化する取り組み

[2] 吉田 公一 (東京講演)

地球と重力レベルが異なる環境における固体材料の可燃性を予測することは、火災安全性の観点から重要である。宇宙火災に関する国際的な共同研究プロジェクト FLARE では、この予測のために必要な地上試験として ISO 4589-4 および JIS K 7201-4 を制定した。この規格がどのように固体材料の可燃性評価に用いられるかを紹介するとともに、ISO 及び JIS 制定の経緯も紹介する。

[2] 高橋 周平 (京都講演)

月面基地や軌道上にクルーが長期間滞在することが計画されているが、地球と重力レベルが異なる環境における固体材料の可燃性を予測することは、火災安全性の観点から重要である。宇宙火災に関する国際的な共同研究プロジェクト FLARE では、この予測のために必要な地上試験として ISO 4589-4 および JIS K 7201-4 を制定した。この規格がどのように固体材料の可燃性評価に用いられるかを、ISS・「きぼう」における最新の軌道上実験の成果とともに紹介する。

[3] 松田 健

屋外暴露の塗膜劣化を忠実に再現する手法を探索する過程で、酸/無機塩/ダストが劣化に強く寄与することを見出した。これらの汚染負荷は耐酸性/防食性/耐汚染性といった指標で(耐候性とは切り離して)評価されることが多いが、屋外環境を再現するように試験を複合化することで単独試験とは異なる材料劣化を起こすことが分かった。そのメカニズムの考察に対し、本講演会の場を借りて皆様からの忌憚なきご意見を賜りたい。

[4] 喜多 英雄

各種樹脂は、屋外で暴露されると、外観の変化が起きる。その評価のため行われるキセノンランプを用いた促進耐候性試験の結果は、一般的に色差や光沢保持率で評価されることが多い。今回、それ以外の方法による評価事例を実際の試験結果をもとに紹介する。

[5] 長谷川 和哉 (東京講演) / 長谷川 剛 (京都講演)

1991年に制定された JASO M 609 は複合サイクル試験として自動車業界のみならず様々な業界で使用されてきた。この JASO M 609 は新しい試験として 2024年に改正された。ここでは腐食促進試験で多く用いられている冷間圧延鋼板を用いて JASO M 609 : 2024 の試験を実施し、その腐食減量の結果を紹介する。

■参加申込方法 *

参加をご希望の方は、下記 URL もしくは QR コードより、参加申込サイトにアクセスし、お申し込みください。

申込サイト : <https://amarys-jtb.jp/swtf2024/>

登録完了後メールにてご返信いたします(定員になり次第締切りとさせていただきます)。



参加申込サイト

聴講無料ですが、テキストをご入用の方は、別途テキスト代(5,000円)をお振込みにて、お支払いください。

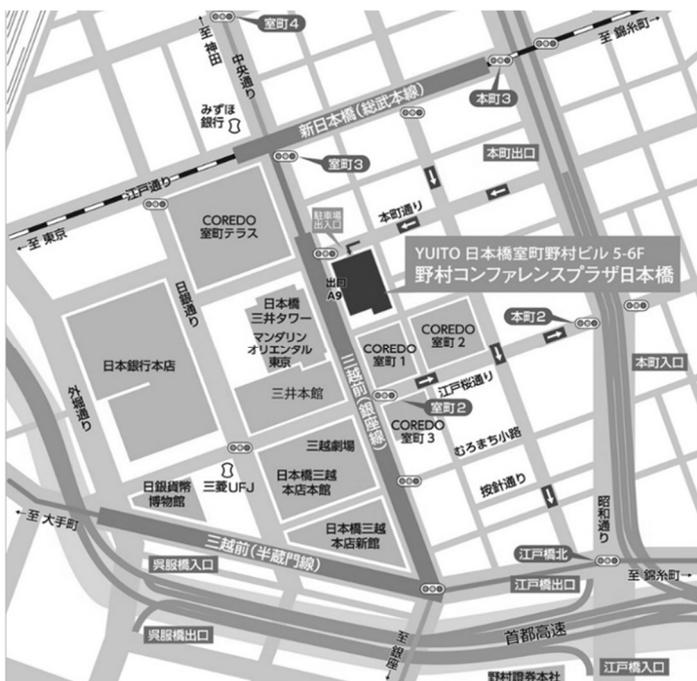
※冊子テキストは講演会当日に会場にてお渡しいたします。冊子テキストにPDFテキストダウンロードのご案内を記載しております。

*参加受付業務は(株)JTB ビジネスソリューション事業本部へ委託しております。(公財)スガウェザリング技術振興財団のプライバシーポリシーにより、参加申込に際して、お預かりした個人情報を本講演会以外の目的に使用することはありません。

■会場のご案内

東京会場

野村コンファレンスプラザ日本橋 6階 大ホール
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-4-3
YUITO 日本橋室町野村ビル5F・6F Tel 03-3261-9921



■東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅(A9出口)徒歩1分

■JR 総武本線「新日本橋」駅 徒歩3分
(駅地下道よりお越しいただけます)

■東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅(B12出口)徒歩7分

■JR 各線「神田」駅(南口)徒歩7分

■JR 各線「東京」駅(日本橋口)徒歩10分

京都会場

ホテルグランヴィア京都 5階 古今の間 中
〒600-8216 京都府京都市下京区烏丸通塩小路下ル
JR 京都駅中央口 Tel 07-5344-8888



■JR 京都駅 (JR 京都駅に直結)

・JR 中央改札口より 正面右側エスカレーターを上がり、2階ロビーよりお越しいただけます

・JR 西改札口より 右折し南北自由通路を進み、右手エスカレーターより、ホテル和食レストラン街を通り、ロビーよりお越しいただけます

■JR 東海道新幹線

・新幹線中央改札口を出て、右折し、南北自由通路を進み、ロビーよりお越しいただけます

■近鉄京都駅

・近鉄中央改札口を出て左折し、南北自由通路を進み、ロビーよりお越しいただけます

■地下鉄京都駅

・JR 中央口側エスカレーターを上がり、2階ロビーよりお越しいただけます

<お問い合わせ先>

公益財団法人スガウェザリング技術振興財団
〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14

Tel : 03-3354-5248 Fax : 03-3353-4753
メールアドレス : tokyo@swtf.or.jp